

エコファイターズ

		代表者	田竈照喜	(工4年)		
構成員	青木 征仁	(工3年)	桜井大輔	(工2年)	澁谷 円	(工2年)
	永岡克也	(工2年)	姫路智明	(工2年)	宮原 望	(工4年)

1. プロジェクトの目的

かつて山口大学工学部には環境サークルがなく、キャンパスの環境問題改善に関しては教職員が規制を行っており、学生主体で問題改善に取り組むことが行われていませんでした。そこで、3R (Reduce, Reuse, Recycle) 意識啓発と行動促進を目指して、学生自身が自主的にキャンパスの環境を考え、仲間と協力して活動を行うために本プロジェクトは結成されました。

2. プロジェクトの内容

本年度は、以下の活動を行った。

- ①行動する : 紙パック回収
デポジット制の普及によるゴミの削減
山口県学生環境セミナーの開催
未使用カレンダーの無料提供
- ②参加する : 全国大学生協連環境セミナーへの参加
- ③伝える : 茶話会, HP, 各情報誌等を通して活動紹介

3. 現在までの活動状況

①紙パック回収

学生、教職員のリサイクルに対する意識向上を目指して2007年6月より紙パックの回収を始めました。回収方法としては、洗浄後パックをひらいて専用カゴにて回収しており、濡れた状態用のカゴと、乾燥した状態用のカゴを生協入口に設置しました。同時に、ポスターの掲示や、2008年1月より総合研究棟ロビーに回収 Box 設置、工学部教職員会議において回収開始のお知らせと各研究室へのポスター掲示をお願いしました。

現在の1週間あたりの回収結果を図1に示す。2009年1月14日現在までの回収量は、合計5837枚です。1週間あたりの回収枚数をみると、8月から12月までの期間は今までに無い順調な回収量だったのですが、それ以降回収量は減少しました。その理由としては、冬期休暇や寒くなったことで冷たい紙パック飲料の需要も減ったことだと考えることができます。これからは、まだ寒く、紙パック飲料の需要が減り、12月～1月のように回収量が低下することが考えられますが、リサイクルすることの大切さを訴えていこうと思います。

②大学祭・近隣地区のお祭りにおけるデポジット制の普及・リターナブル食器によるゴミの削減

お祭り等の模擬店では多くの使い捨て食器が使われており、大量のゴミが発生します。そこで私達は洗って再利用可能なリターナブル食器をイベントで使ってもらえるように働きかけ、ゴミの減量に取り組んでいます。今年度は、宇部フロンティア大学・光市で開催されたアースデイ@瀬戸内・広島ユニセフの grassroots Hiroshima・

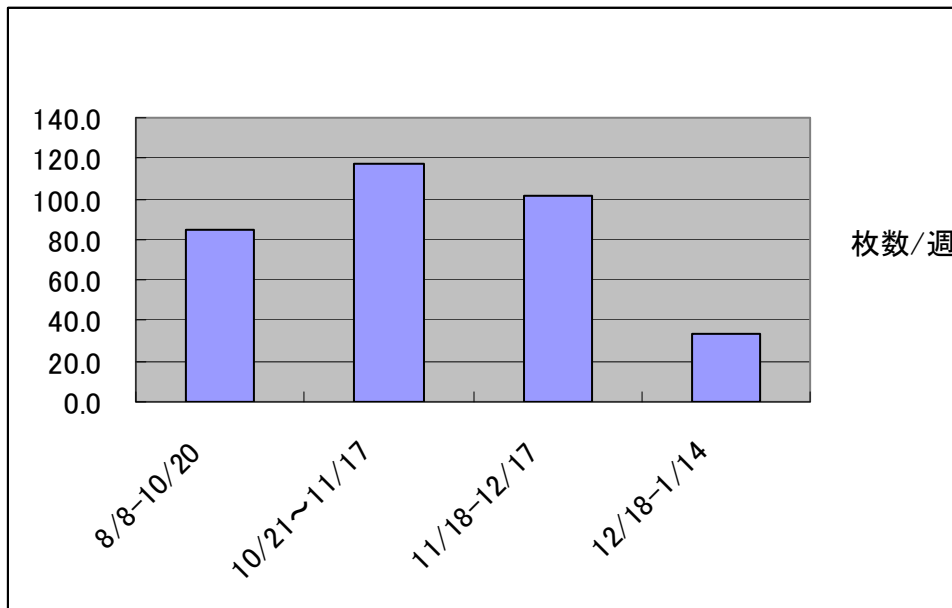
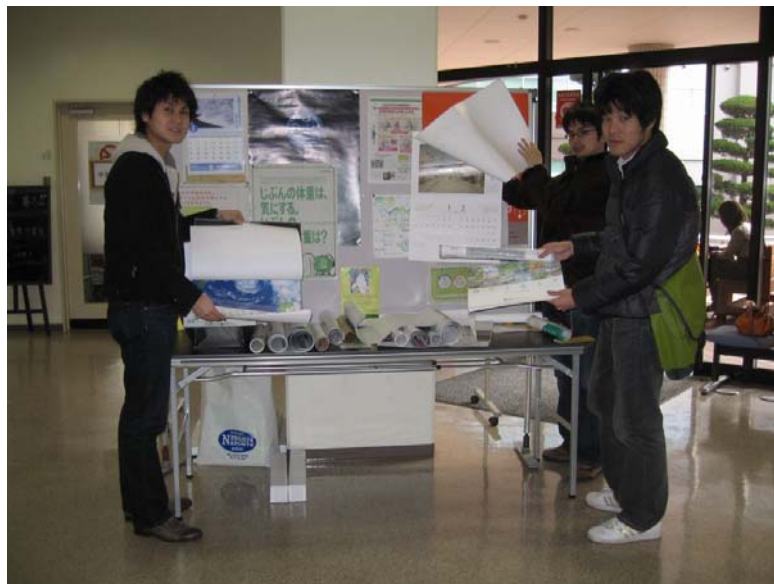


図1 紙パック1週間あたりの回収

③カレンダー・手帳の無料配布

去年から、各研究室・事務室・生協等から提供いただき、家では使わない不要なカレンダー・手帳を集めて、無料配布を工学部の生協前で行っています。不要なカレンダー・手帳を集めると、カレンダーが50本・卓上カレンダー3本・手帳7冊頂きました。カレンダーを置いたとたんどんどん在庫が少なくなり、1日でほとんどの在庫がなくなりました。家では使われなくゴミとなるものを回収して、必要な方がそれを使う。このような循環はとても必要なことと考えていますので、メンバー一同とても嬉しく思います。



4. 最後に

人数が少ない中での活動だったので今年度は活動内容自体をあまり拡張することはできずにいました。しかし来年は今年度を糧に、いろいろなことに挑戦していきたいと考えています。

最後にはなりましたが、おもしろプロジェクトにはご指導・資金面などでご協力ありがとうございました。